

# 「起業家精神」教育学ぶ

松本

中学校  
教員ら  
子どもの立場で体験

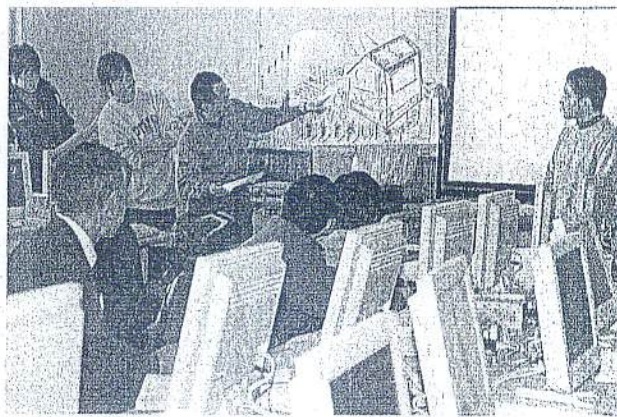
松本市キャリア教育推進協議会（事務局・松本市教育委員会青少年課）

などは八日、子どもが学習テーマを見つけて解決するまでを体験する「アントレプレナーシップ（起業家精神）教育」の体験研究会を同市の丸ノ内中学校で開いた。同校の教員ら約二十人が参加し、インターネット上の教材を使った授業を子どもの立場で体験した。

職業教育の一環として、京都市のNPO法人「アントレプレナーシップ開発センター」の原田紀久子事務局長を講師に招いた。原田さんは「アントレプレナーシップは経済分野にとどまらず、環境分野にとどまらず、自己実現だけでなく、よりよい社会を創造する行動能力を学べる」と説明した。

体験授業では、環境問題をテーマに同法人が開発した教材を使用し、質問に沿って地球温暖化の原因や新エネルギーの種類などを回答。その後、四つのグループに分かれ、環境にやさしい住宅について考え、模造紙にまとめて発表した。

松本市教委は来年度、同法人の教材を希望する小中学校に導入すること



アントレプレナーシップ教育を子どもの立場で体験し、環境にやさしい住宅について発表する教員たち

を検討している。丸ノ内「教材は問題解決の過程が具体的。総合学習で地

域貢献に取り組む学年もあり、授業ノートや課程づくりの手掛かりになる」と話していた。